

感染性廃棄物容器合格証

日之出紙器工業株式会社

商 品 名	セーフティボックス50
型 式	21991-001-01
容 量	50.0リットル×1
材 質	内容容器:プラスチック袋 外装容器:紙段ボール

上記の容器が感染性廃棄物容器評価事業の
審査基準に合格していることを証します

JW 登録 番号	2021-1017
有 効 期 限	2027年1月25日

2022年 3月1日

公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

理事長 関 莊 一 郎



感染性廃棄物容器評価書 (JW登録番号 2021-1017)

日之出紙器工業株式会社	商 型 容 材	品 名 式 量 質	セーフティボックス50 21991-001-01 50.0リットル×1 内容容器:プラスチック袋 外装容器:紙段ボール
	用 途		固形物専用(液・泥状および鋭利物不可)
	特 記 事 項		—

1.評価の考え方

感染性廃棄物容器評価制度では、廃棄物処理法に基づく「感染性廃棄物処理マニュアル」に規定されている範囲内において、通常の条件(使用温度:15~30°C、運搬車両の荷台高さ:100cm、荷台での積み上げ高さ:250cm)での容器の持ち運び、積重ね、転倒・落下事故発生時に、注射針の貫通、容器の破損、容器からの内容物の漏れに耐え得る容器を評価しています。

2.実施試験

貴社が本容器について実施した次の試験の結果は、審査基準を満たしています。

試験の内容

試験項目	試験方法	試験結果
落下試験	15.0kgの砂を充填した容器を、100±2cmの高さから硬く平滑な水平面に落下させた。	落下させた直後に、内容物が容器から逸脱する可能性のある亀裂、破断、裂け、又は変形がなかった。蓋が容器にしっかり固定された状態にあり、内容物の漏れが観察されなかった。
転倒試験	15.0kgの砂を充填した容器を250cmを超えない範囲で5段積重ね、幅広面2方向に各2回、硬く弾力性のない平滑な水平面上に転倒させた。	転倒させた直後に、内容物が容器から逸脱する可能性のある亀裂、破断、裂け、又は変形がなかった。蓋が容器にしっかり固定された状態にあり、内容物の漏れが観察されなかった。
積重ね試験	15.0kgの砂を充填した容器を250cmを超えない範囲で最大個数5個を積重ね、48時間以上静置した。	内容物が容器から逸脱する可能性のある亀裂、破断、裂け、又は変形がなかった。内容物の漏れが観察されなかった。
耐水性試験	JIS P8140コップ吸水度試験方法に準拠し実施した。なお、水との接触時間は1800秒、測定箇所は外装容器の表面5ヶ所、裏面5ヶ所であった。	表面裏面ともに、吸水度の最大値は155 g/m ² 以下であった。

2022年 3月1日

公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

理事長 関 莊 一 郎



更新審査結果報告書

受付番号	2021.04	
申込者	日之出紙器工業株式会社	
申込容器	商品名	セーフティボックス 50
	型式	21991-001-01
	タイプ	組合せ容器
	種類	固形物専用（液・泥状および鋭利物不可）
	材質	内容容器：プラスチック袋 外装容器：紙段ボール
評価結果	合格	
J W 登録番号	2021 - 1017	
評価書交付日(新規)	2006年1月26日	
評価書交付日(更新)	2022年3月1日	
評価有効期限	2027年1月25日	
更新回数	4	
更新審査結果の概要		
評価申込書[更新]の審査をした結果、更新が承認された。		
感染性廃棄物容器評価事業委員会 審査部会からの要望、意見等		
特になし。		